

南東京発

ビジネスに役立つ製品・取り組み

南東京のモノづくり企業と、それを支える地域金融機関を紹介する。AKICOはタンザニアの社会課題の解決に向けた装置を開発し、巴工業は主力の遠心分離機でインド市場に乗り出した。日東工器は製造業の人手不足や効率化の課題を解消する製品に力を入れる。一方、金融機関では横浜銀行、東日本銀行が事業承継や創業期の支援を本格化している。

ファンド通じ事業承継・成長支援

横浜銀行

横浜銀行はコンコルディア・フィナンシャルグループ(PG)として掲げるビジョン「地域に根ざし、どこにでも存在して選ばれるソリューション・カンパニー」実現に向け、ファンドを軸とした地域企業の事業承継・成長支援を本格化している。横浜銀行グループの投資専門子会社である、横浜キャピタルと連携したハンスオン(併走型)支援で地域の首脳を支えるスタンダード。

横浜銀行と横浜キャピタルは2023年9月、投資ファンド「Yokohama Next Investment」を共同で設立。横浜銀行の協業エリア内に主要な事業拠点を持つ中小企業やスタートアップを投資対象としたYokohama Next Fundは総額60億円です。当初の想定以上のペースで投資実行が進んだため、24年9月初め、後継ファンドを立ち上げた。

これまでの投資実績について、横浜銀行営業戦略部長入戦略企画グループの松下幸りターは「スタートアップと中小企業の事業承継支援がほぼ半々」と話す。多くの中小企業が直面する後継者難が実態に反映された格好だ。

新たに設立したのは、Yokohama Growth 1号ファンドと「Yokohama Next 2号ファンド」。前者はスタートアップの成長を支援するVCファンド、後者は事業承継が課題となった中小企業に投資して再生を図るハイアウトファンドだ。それぞれファンド総額は30億円と50億円。

エグジティブニーズの高まりと実態を踏まえ、後継ファンドは投資対象を明確に分けた。「スタートアップと事業承継支援のノウハウが横たわっている」ある「松下りター」と地域企業の多様化・高度化するニーズに応じていく姿勢だ。

